



かるがもの会

“ 視覚障害者目線からのお願い ”

かるがもの会 ホームページ作成班

* このページでは、当会の会員の方々からいただいた声を『 お願い 』として記載しておりますので、併せてご一読ください。

※ お願い① ※

● 点字ブロックの上・周りを通りやすくしてください。

駅や道路、階段、建物の出入り口などにある

「黄色などのブロック

(「止まれ／警告ブロック→たこ焼きのような丸い盛り上がりがあるものと、

「進め／誘導ブロック→平たい棒状の盛り上がりが並んでいるもの)」は、

『点字ブロック』と言う視覚障害者自身が進む方向を感じ取るための

“ 道しるべ ” です。

ブロックの上やその周りでは、

- 1 突然立ち止まる・座り込む
- 2 立ち止まってのおしゃべり
- 3 バッグや紙袋などの荷物を置くこと

などはお控えください。

※ お願い② ※

● 歩く時は、前や周りをよく見て歩いてください。

「歩きスマホ（携帯電話やスマートフォンなどを操作しながら歩く）」や、「横見歩き（おしゃべりしながら・よそ見をしながら）」の歩行は、他の人や柱などにぶつかったり、段差などに気づけずとても危険ですのでお控えください。

目の不自由な人は、上記のことには気づけないので避けられず、ぶつかってしまい倒れたり、向きが変わってしまうと『方向感覚（自分が今どの方向を向いているのか？）』が分からなくなり、行きたいところへ行けなくなります。

もし、目の不自由な人とぶつかってしまった時は、

【その人がどの方向へ行こうとしていたのか】
を聞いて、その人が立っていた向きに立たせてください。
そうすることで、気持ちを切り替えて歩き始めることができます。

※ お願い③ ※

● 車を運転している方は『窓を開けての声かけ』をお願いします。
運転中、白杖（白い杖）や盲導犬を連れている
視覚障害者が横断歩道などで渡らずに止まっているのを見かけ、
道を譲って頂ける時は、

『必ず窓を開けて』

「先に渡ってください！」などの声かけをお願いいたします。

車の音が聞こえている間は、視覚障害者は、
「あの車、どっちに行くのかな・？」と考え、渡らないことが多いです。

※ お願い④ ※

● 視覚障害者の『SOS』のサイン
白杖を50センチくらい挙げていたり、手を挙げているのは
『SOS』のサインです。

そういう仕草を見かけられたときは、
『どうかされましたか？』などと声をかけてください。

また、キョロキョロと迷っている時、危ない方向へ向かっている時などは、
迷わず声をかけてください。

※ 盲導犬がハーネスを付けて単独でいる場合、近くにユーザーらしき人が
倒れている可能性がありますので、救助をおねがいたします。
また、そのような人が見当たらない場合、リード（引きひも）などを持って
警察へ連れて行くか、ハーネスに表示されている育成法人への
連絡をお願いいたします。

※ お願い⑤ ※

● 視覚障害者でも見え方は十人十色、サポートも経験で違います。
ですから、最初はあなたから視覚障害者の人にどうサポートしたらいいのか
尋ねてみてください。

声をかける時は、視覚障害者の正面などに立ち、

『何かお手伝いすることはありますか？』

『どちらへ行かれますか？』

『何かお困りですか？』

と声をかけていただけると、手伝う時間のある方だとわかり、
安心してサポートをお願いすることができます。

※ 上記のような声かけをしながら、または声かけのあとに肩や腕などを「トントン」と軽くたたいていただけると、
『自分に話しかけられてるんだ！』ということがわかります。

＊ ＊ 誘導していただく際の注意事項 ＊ ＊

1 『無言でいきなり』白杖や盲導犬のハーネス（黄色や白などのハンドル）やリード（引きひも）はつかまさないで。

視覚障害者は、白杖または盲導犬のハーネスなどを通して

道幅や段差、道路上の障害物などを確認しながら歩いています。

その杖などをつかまれてしまうと、段差や路面状況などが分からなくなり大変不安になります。

2 『無言でいきなり』腕や洋服、リュックなどを引っ張らないで。
何が起こったのかが分からず、恐怖を感じてしまいます。

※ お願い⑥ ※

● 盲導犬使用者に対する手助けを行う時は、
ユーザー（盲導犬を連れている人）に声をかけてください。

※ 犬はいないものとして、無視してください。

犬がハーネスを付けている時は『工作中』です。

そのため

“目を合わせない・触らない・声をかけない・飲食物を与えない”
でください。

* 盲導犬は人間が大好きです。

仕事中に口笛を吹くなど、犬の気を引くようなことをされると、
気がそちらに向いてしまい、声のした方へ行こうとしたり、
ユーザーの指示に気づけないため危ないです。

ケガをしないためにも、ご協力をお願い致します。

また、道路にゴミ（特にたけぐし・ペットボトルなどのキャップ類・生ゴミ等）
や、食べ物を捨てたり、ペットのフンや汚れたものを放置しないでください。
盲導犬を含む補助犬、ペットなどが食べてしまったり、目の不自由な方などが
気づけずに躓いたり踏んでしまうと、とても危険です。

※ お願い⑦ ※

● お知り合いの視覚障害者に声をかける際は…

「〇〇〇号室の△△です」

「××の母（または父）です」など、

まずは

あなたご自身のお名前などを名乗ってから

声かけしていただけますと

【 声 と 名 前 】

が一致して『頭の中の引き出し』に記憶することができます。

※ 記憶力には個人差がありますので、複数回あなたのお名前を
うかがうこともあることをご了承ください。

※ お願い⑧ ※

● 勇気を出して声をかけても、あなたからの申し出を
断ることがあるかも知れません。

そんな時、

「せっかく声をかけたのに…断られて恥ずかしい…」

なんて思わないでください。

たまたま、その時は必要がなかっただけで、ほとんどの場合、
皆さんからの一声を必要としています。

* 視覚障害者は…

『厄介・面倒な存在』

ではなく、

“目”になる部分だけ手助けいただければ、

あとの四覚（聴覚・触覚・嗅覚・味覚）を工夫して
皆さんと同じように生活することができます。

難しく考えることなく、気負わず、
自然に声をかけていただければとても嬉しいです♪

よろしく願いいたします！

☆ かるがもの会ホームページ

<http://karugamo.lifejp.net/>

